

各種審議会等審議結果公表シート

会議の名称	第2回中津川市介護保険運営協議会
開催日時	令和5年11月6日(月) 13時30分～14時30分
開催場所	中津川市健康福祉会館4階 多目的ホール
出席者の 役職名	<p>委員：恵那医師会代表・区長会連合会代表・訪問看護事業者代表・老人保健施設代表・居宅介護支援事業者代表・居宅介護支援事業者代表・ユニオンネット中津川代表・東濃地区労働組合協議会代表・老人クラブ連合会代表・被保険者代表・被保険者代表・社会福祉協議会代表・民生委員児童委員協議会連合会代表・介護相談員代表</p> <p>事務局：市民福祉部長・市民福祉部福祉局長・高齢支援課長・介護保険課長・高齢支援課長補佐・介護保険課長補佐・同係長</p>
傍聴者	なし
話し合われた内容 (会議録又は 審議概要)	別紙
会議資料	(添付ファイル)
次回開催予定日時	令和5年12月13日 午後1時30分
次回開催予定場所	中津川文化会館2階 多目的研修
所管部課	市民福祉部介護保険課

欠席者 老人福祉施設代表

令和5年度 第3回中津川市介護保険運営協議会 会議録

日時:令和5年 11月6日(月) 13時30分から14時30分

場所:健康福祉会館 4階 多目的ホール

1.開会のあいさつ

介護保険課長挨拶

2.委員の交代について

新委員へ委嘱状交付

会長代行挨拶

皆さんにもご承知のように、会長を務めてみえた上田会長が、病のためにご逝去されました。大変残念でございます。上田先生には、我々委員を色々な方面で協議いただき感謝しております。ご冥福をお祈りしたいと思います。

本日協議会の中で、会長を選任する必要があります。これから議事に入ります前に、会長の選任を委員の皆様方にお諮りしたいと思いますので、ご協力のほどよろしくお願ひしたいと思います。

新会長の選任

新会長挨拶

若い医者の中には、医療と介護が別のものであると勘違いしている方が多い。医療と介護はもともと一つ。そのようにして成り立っていると思っています。

中津川市では人口減少、高齢化が進んでいます。一方で労働人口が減ってきている中で、介護のピークを迎えるにあたって非常に大きな問題です。一番の問題は限られたリソース、人材です。ケアマネジャの平均年齢が高くなり、毎年退職されていきます。外国人人材についても頼らざるをえません。中津川市には坂下高校という介護人材を養成する立派な学校があります。岐阜県内に3つ介護人材を育成する高校がありますが、坂下高校は生徒数が少ない。坂下高校がきちんと機能すれば、すべての福祉に関わる介護人材が充足できるのに、それが機能していない。ケアマネジャ、介護福祉士、この人材がいなければ、この計画は絵にかいた餅になります。そこについてもどうしていくのかを考えていく必要があると思っています。この運営協議会には特養、老健、グループホームをはじめ様々な方が参加しております。特養、老健、グループホームはある程度出来上がっていることですが、一番の問題は地域包括ケアシステムをどのようにおこなっていくかではないかと思っています。きちんと機能させて10年後、20年後の将来に向けて上手くいくように、邁進したいと思っています。

皆様、よろしくお願ひいたします。

3.議題

(1) 第9期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(素案)について

(2) 第9期計画策定に係る今後のスケジュールについて

会 長 それでは、議題(1)に入ります。事務局から説明をお願いします。

事 務 局 第9期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(素案)について、第9期計画策定に係る今後のスケジュールについて、まとめて説明。

会 長 ただ今の事務局説明について、各委員のご意見ご質問はございませんでしょうか。1点よろしいでしょうか。第1章の概要ですが、中津川市ならではの特徴は何かございますでしょうか。

事 務 局 ならではのところではないかもしれませんが、16 ページの、要介護認定者数の状況を見ていただきますと、中津川市については、県内市町村と比較をしますと、介護認定者が少し少ない傾向があるようです。原因として考えられるのが、介護認定の調査が少し厳しいのではないかとということ、介護をためらう。自分たちで何とかしようと思っている方が多いのではないかと分析しています。

会 長 東濃地方の傾向ではないかということですね。分かりました。調査が厳しいというのはあるかもしれませんが、大分緩和されてきているといった印象は受けています。ただ、解決の方法は行政にあるということをお皆さんに知ってもらいたいと思います。その他、いかがでしょうか。

委 員 1点質問をさせていただきたいです。外国人登用について。今後市としてどのような対応をしていくのでしょうか。

事 務 局 アンケート調査において外国人の登用についての積極的な活用について中津川市でも非常に重要であるという旨の質問をさせていただきました。調査結果としてすべての事業所が外国人の登用に積極的ではないという結果があり、外国人に絞ったところについての施策を展開するということにつきましては、現在考えておりません。介護職員全体の増員については検討していく必要があると思いますが、外国人のところでは、現時点では考えておりませんので、よろしくお願ひいたします。

委 員 ありがとうございます。現場は疲弊しており、外国人の力が必要であると個人としては思っています。ただ、自分のところで語学力であったりコミュニケーションというのも必要であると思いますが、なかなかできないということもあると思います。そういう部分について支援をお願いしたいです。

会 長 ありがとうございます。小原さん、お願いします。

委 員 外国人登用の件で、うちの施設でも実際ミャンマーから来ていますが、中津川市の魅力って何？というところから。この方々は都会に行きたいと。男性2人、1年半働いています。中津川の魅力は何なのかというところで、紅葉がきれいという話になり、紅葉を見にいたり、薬や服を買いに行きたいからと言って行ったり、現場が寄り添う形でやっている状況です。海外から来た方たちが中津川市で就労する魅力は、そこだと思います。だからといって何ができるかとなると、事業所単位では難しい。彼らは横のつながりがすごく強

いので、給料がいいと横のつながりで聞くと、すぐに食いつくわけです。中津川市に5年なら5年居ていただくための努力というのは、やはり市がなんらかの形で動いて政策を進めていかないと、ただでさえいない介護労働者が定着しないという懸念もでてくると思います。今の動きの中で、これでいいのかなと思いましたので、感想として述べさせていただきます。

事務局 部長の早川です。外国人登用につきましては、計画の中の話ということで進めさせていただいておりますが、外国人人材をどのように受入れていくかという勉強会をはじめさせていただいております。紹介していただける会社の話等を聞きまして、市として何ができるのか。皆様方の状況等も参考にしながら始めさせていただいている状況です。介護の調査結果のデータも流用しながら勉強会的なものを始めております。また、今言葉の問題ということ、事業所が雇い入れる際に、直接雇うことが難しい方ですと中間業者といますか管理業者に費用がかかるといった問題があることを勉強してるところです。何が一番効果的で効率のいい支援ができるかというところは、市の別の勉強会の中で話をしているところです。また色々なご意見をいただき、参考にしながら施策としてやっていかなければと考えております。坂下高校につきましては、坂下高校に特化した奨学金制度を設けており、月2万円、市内で就職していただくと奨学金免除ということも実施しておりますが、コロナ禍で中学生に対するPRがなかなかできなかったことが悔やまれます。中学生の介護現場見学につきましてもやっていけると思いますので、そちらと合わせて外国人についても、何らかの形にしていきたいと思っています。

会長 ありがとうございます。計画ができてでも人材がなければ、絵にかいた餅になる。坂下高校の奨学金についてはナンセンスで、我々事業所では外国人1人雇うと中間業者に支払ったりと。それを思うと、外国人を雇うよりも坂下高校に通う生徒さんの学費を全額免除したほうが有効だと思います。横断的にやっていけるといいと思います。他にご質問はございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

(3) 第8期計画進捗管理について

会長 (3) 第8期計画進捗管理について。事務局より説明お願いいたします。

事務局 第8期計画進捗管理について説明。

会長 ありがとうございます。私の方からよろしいでしょうか。まず、資料3でございます。施設サービスとして、介護医療院、介護療養型医療施設がございますが、中津川市には介護医療院はありませんし、介護療養型医療施設もございませんので、ここに金額がかかっているのはどのような理由なのでしょう。

事務局 第8期計画の策定が令和2年でございますが、その時点では介護療養型医療施設が残っていたというところと、介護医療院につきましては、中津川市外の需要については、見込んでおく必要がありますので、そちらを入れた状態で8期計画を策定させていただいております。

会長 中津川市の医療機関を使用するわけではなく、他の市町村の医療機関を使用する分の支出ということですね。

事務局 はい。

会長 介護療養型医療施設はもうないのでゼロ、他の市町村も行っていないのでゼロということですね。分かりました。次、資料5に関しまして、交付金の実績を教えてください。

事務局 令和5年の実績になりますが、推進交付金と支援交付金と2つに分かれておりますが、合計で、2,322万9千円となっております。

会長 増えているのか、減っているのか。

事務局 金額としてはきちんとした金額ではないので分かりませんが、評価としては、令和4年から5年にかけて上がっていますので、おそらく増えているのではないかと思います。

会長 数字目標など、そういうのがあると予想されて目標をつくるというのではないかと思います。あと、中津川市は横のつながりが弱いという印象をもっていますし、高齢者のボランティア活動についても弱い印象をもっています。また、地域包括支援センターの体制充実による適切な包括支援事業のところ、地域包括ケアシステムの所も弱いと思います。在宅医療・介護連携の所も弱いと。認知症総合支援のところも連携が弱いと。地域包括ケアシステムを運用していくにあたりそのようなところが大きな課題となってくると思っていますので、そこを改善していくと非常によいものになると思います。最後に元気高齢者が重要なリソースになっていくと思います。

その他、ご質問はございませんでしょうか。これをもちまして審議を終了させていただきます。

5.その他

事務局 長時間にわたり会長には議長を務めていただきましてまことにありがとうございました。次回の協議会ですが、12月13日を予定しております。時間は本日と同じですが、会場変わりまして、中津川市文化センター2階多目的研修室を予定しておりますので、お間違えのないようお願いいたします。閉会の言葉を三浦副会長をお願いいたします。

副会長 本日は熱心にご協議いただきましてありがとうございました。新会長を中心に協議会の規定に沿った進行を進めたいと思っておりますので、委員の皆様には今後ともよろしくようお願いいたします。それでは以上をもちまして、第2回の介護保険運営協議会を終了させていただきます。本日はご苦勞様でございました。